

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆企業物価0.8%上昇、伸び再加速か 今夏1%超の声も

・日銀が10日発表した企業間で取引されるモノの価格動向を示す企業物価指数は、3月に前年同月比0.8%上昇し、2カ月連続で伸び率が拡大。原油相場などの上昇による値上げの動きがみられ、電気・ガスの補助制度の一巡も影響。消費者物価を押し上げ、持続的な物価上昇につながる可能性がある。電気・ガスの負担軽減策の一巡が企業物価を押し上げている。

◆特定技能外国人、建設分野で8万人受入れ 16万人なお不足

・政府は閣議で、中長期的に受け入れる外国人労働者の見込数について決定。建設分野では在留資格のある特定技能外国人として、2024年度から5年間で最大8万人受け入れる方針。2028年度に建設分野では24万人程度の人手不足が見込まれること、生産性向上や処遇改善などの取組を行ったとしても16万人相当しか補えないことなどを挙げている。

◆電力消費、2050年に4割増 生成AI普及で想定超す

・膨大なデータ計算が必要な生成AI(人工知能)の利用拡大で電力の消費量が急増する。データの計算や保存を行うデータセンターを新設する企業が相次ぎ、日本では2050年に4割増えとの予測がある。技術革新に伴い、想定以上に電力消費が進む。脱炭素化を進める政府のエネルギー戦略に影響を与える可能性もある。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆マンション建築費が再び最高 3月、型枠工事など高く

・マンションの建築コストが再び上がっている。民間調査機関の算出する指数は2カ月ぶりに上昇し、過去最高を更新した。原材料高に加え、人手不足を背景とした人件費の上昇が幅広い資材の価格や建設現場の作業費を底上げしている。工事費用の上昇に歯止めがかからず、マンション価格は高止まりしそう。

◆パナソニック「再生家電」、10商品群販売へ 9月にも

・パナソニックは10日、販売後すぐに不具合が見つかった家電製品を修理して「再生品」として販売する事業を始めたと発表した。9月にも対象の家電を10商品群に広げる。これまで有機ELテレビやドラム式洗濯機が対象だったが、新たに冷蔵庫や電子レンジなどが加わる。使える商品を有効活用することで廃棄を減らし、環境負荷を低減する。

◆国交省が改正リフォーム減税のWEB説明会

・国土交通省は4月22日に開催する「リフォーム減税制度WEB説明会」の参加者を17日まで募集。リフォーム減税制度は、リフォームをした人の所得税が一部控除される、あるいはリフォームを行った住宅の固定資産税が減額される制度。2024年度の税制改正により内容が変更され、期限延長・拡充などが行われた。

《 注目商品 》

■パナソニック、「エコ・ハイブリッド」方式を採用した衣類乾燥除湿機

・「エコ・ハイブリッド」方式を採用し、消費電力約1/3を実現した衣類乾燥除湿機「F-YEX120B」を5月30日より発売。結露の仕組みで空気中の湿気を2度除湿し、冷却器を通った冷たい空気も有効活用することで消費電力約1/3を実現。



■YKK AP、金属外装材で14種の防火構造認定を取

・アルミ外装材「アルカベール」と鋼板外装材「アイアンベール」で防火構造認定を14種取得、受注を開始。京都大学 生存圏研究所と共同して、木造住宅の倒壊解析ソフトウェア「wallstat」で解析シミュレーションを行い、アルミ外装材が倒壊リスクを軽減させることを確認。



■永大産業、造作風洗面にメラミンカウンター

・カウンターやボウル、水栓をカスタマイズできる造作風洗面台「アクアージュフロート」シリーズに新アイテムを追加し。新たに、人工大理石仕様1種類だったカウンターに、エッジに丸みを持たせたメラミンカウンターを追加。

